



一圓 仁さん
Ichien Jin

(津志田区)

いちえん じん / ボランティアで津志田河川自然公園の環境整備に取り組む。自身もキャンパーとして同公園を利用しながらキャンプ仲間とともに利用者のマナー啓発を続けている。

自然を楽しむ仲間と共に 魅力ある公園を守る

「初めて訪れた家族連れも自分の時間を楽しみたいソロキャンパーも気持ちよく過ごせるような環境づくりに貢献できたらうれしいですね」と話すのは、自身もキャンパーとして津志田河川自然公園

(乙女河原) を利用しながら環境整備に取り組む一圓仁さん(津志田区)。

子どものころから身近な存在だった同公園の環境整備ボランティアをはじめたのは、アウトドア志向による同公園

の利用者増加とそれに伴う利用マナーの低下に危機感を覚えたからだという。

「身近な場所が心無い利用者によって荒れていくのを目にしながら、何かできないかと考えました。マナーの低下から閉鎖されるキャンプ場もある中、乙女河原がそうなら、しまわれないように利用者への声掛けや直火禁止の看板設置などを利用者のキャンパー

と共に行動しています」

「風が強い日には、利用者に焚き火を行わないよう促したりもしますね。私も講習会などに参加してアウトドアに関する正しい知識を学ぶよう務めています。巡回中に見かけた初心者キャンパーへの積極的な声掛けやアウトドアワークシヨップ開催を通して利用者のマナー意識向上を図っています」と一圓さん。

そうした地道な活動が実を結び、同公園の魅力を感じたキャンプ仲間が一圓さんのもとに増えつつあるという。

「アクセスが良かったため、県外から駆けつけてくれる仲間もいますよ。多くの人を引き付ける魅力あるこの公園を、利用者のひとりとして守っていきたいですね」と話す一圓さんは、大切な場所を守る活動を同志と共に続けていく。

広報 こうさ

2020年(令和2年)12月号
通巻617号